

# 渡辺武夫氏 勲四等に叙せられる

山田 隆基 (技術部)

元技術部特殊技術課長渡辺武夫氏が 昭和54年秋の叙勲で勲四等瑞宝章を授与され 11月6日に伝達式が行われました。 同氏に対し心からお祝申し上げます。

渡辺武夫氏は 昭和7年東京帝国大学理学部地質学科を卒業され 昭和9年外地勤務となり 昭和20年の終戦を迎えるまでの間 南満州鉄道株式会社地質調査所勤務から 昭和11年から朝鮮総督府鉄道局勤務にかわり 同局の技師 第2課長兼中央交通従業員養成所講師として土木地質に関連した業務を担当し 大陸の交通事業に貢献されました。 昭和20年終戦を迎え 翌21年に退官し 日本内地に戻られました。

昭和21年10月商工省地下資源調査所に嘱託として入所され 当時 国の重要な施策の一つである石炭資源開発のための調査で試錐部門を担当し 当時としては困難な深層試錐を指導し 多大の成果をあげられました。

昭和24年6月技術部試錐課長に任ぜられて以来豊富な学識と経験を発揮され 試錐業務を推進するとともに後進に対し 試錐技術とその研究指導に当られました。 また炭田試錐のほか工業用水 地熱などを対象とした試錐は開発当初ではむづかしい技術が伴い その指導につ

いて顕著なものでありました。 昭和28年7月通商産業省地下資源開発審議会専門委員を委嘱され 試錐部門を担当し 会の運営に寄与されました。 昭和31年には 試錐ハンドブック編集委員会の一員として参画し 編集に当り試錐業界にも大きな功績を残されました。

昭和30年5月技術部試錐課長から新設された同部工作課(現在特殊技術課)の課長に替われ 課の基礎を築くと同時に課の業務である薄片作成と地質調査用機器の試作業務に対し 地質の調査研究に最も適した製品の製作指導をされました。

昭和41年退官後は ライト工業株式会社の技術顧問として同社の主たる業務である道路建設で土質力学的調査業務の指導を担当されました。

以上渡辺氏の業績の一端を述べましたが 氏の学識経験と温厚な人柄をもって それぞれの部門をまとめ 地質の研究調査活動に貢献されました。

昭和51年ライト工業株式会社を辞任されてから 川崎市子母口の御自宅で充実した日々を送っておられますが 今後なお一層の長寿と御健康をお祈りいたします。



叙勲の誉に輝く渡辺武夫氏



勲 記